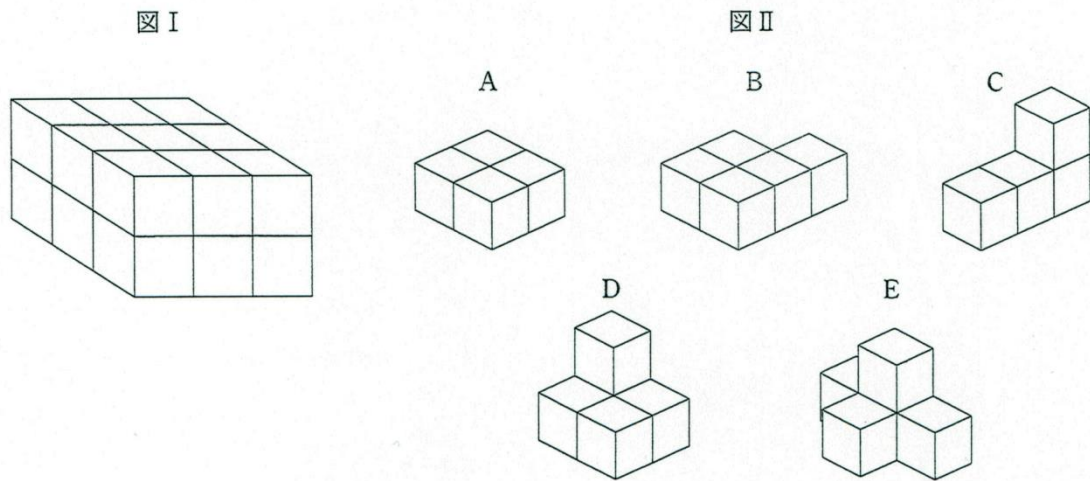


# 過去問ライブラリー 判断推理

国税専門官 2007 立体図形

## 問題

図 I は、同じ大きさの立方体 18 個から構成される立体である。この立体を四つのピースに分割し、テーブルの上に置いたところ、もともと余分なピースが一つ置かれていたため、図 II のような状態になってしまった。もとの立体に戻す場合、A～Eのうちで不要となるものはどれか。



1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

解説

A～Eのピースは、AとCが立方体4個、B、D、Eが立方体5個で構成されており、合計で立方体23個分になります。図Iは立方体18個から構成されますので、 $23-18=5$ より、不要なピースは**立方体5個で構成されるB、D、Eのいずれか**となります。

ここで、図Iを上下にスライスして平面図を作成します。B、D、Eのうち2個を組み合わせ、残るスペースにAとCを配置する方法を考えますと、図のような配置が可能になり、不要なのはEと分かります。

よって、正解は肢5です。

